

総務大臣懇談会プレゼン(2) レジюме

プリズム 岸本 晃

1、前回プレゼンのおさらい

- ・ 東峰村・伯夫さんの住民ディレクターモデル
- ・ ネットワークによる東日本支援策について

2、今回は住民ディレクターの総合的な実践力のダイナミズムを紹介

- ・ 兵庫県佐用町モデルを事例に
- ・ 台風による局地的集中豪雨で20名の死者、不明者
- ・ 被災直後から町内外の住民ディレクターネットワークが活動
- ・ 町内外の継続した情報発信チームがコミュニティ回復から心のケアまで中長期的にサポートした
- ・ 自前の住民制作番組が様々な分野での貢献を可視化した
- ・ 町民のコミュニケーション、自信の回復→アイデンティティの回復
- ・ 住民ディレクター、カメラマンがNPO設立→自律、継続へ

3、まとめ

- ・ 自前の情報受発信力をもつことが大きな意味で心のケア、地域のアイデンティティ回復につながり、住民自身の映像記録が安心安全のまちづくりへの大きな力になる。
つながることになる。
- ・ IT、情報発信をベースにしたNPOや起業家が緊急時、平時両方のノウハウを商品化し産業振興、雇用にも対応していける。
- ・ 風評被害等については自前の受発信力人材をきちっと育て、嘘のない安心安全な商品を本音で紹介し、自らの流通ルートを築く。

住民ディレクターが
2つの社会を結ぶインターフェイス

Ustream

Facebook

YouTube

Twitter

地域SNS



住民ディレクター
梶原伯夫

デジタル縁社会

新しい公の場に

とうほうTVキャスター

地縁地域共同体社会

まとめ

- 住民ディレクターの養成が即戦力に
- 東峰村で研修、プラットフォームで交流
- NHK、民放で住民制作番組を
- 自治体の情報受発信力が安心安全のまちづくりに

「東日本」の中長期支援

課題

- ・ 心のケア
- ・ 行政機能の低下
- ・ 風評被害
- ・ 産業振興
- ・ 雇用
- ・ 安心・安全

地域のアイデンティティ喪失

住民ディレクターネットワークによる
自前の情報発信力獲得が
解決策のひとつになる。

モデル

兵庫県佐用町
水害被災からの復興

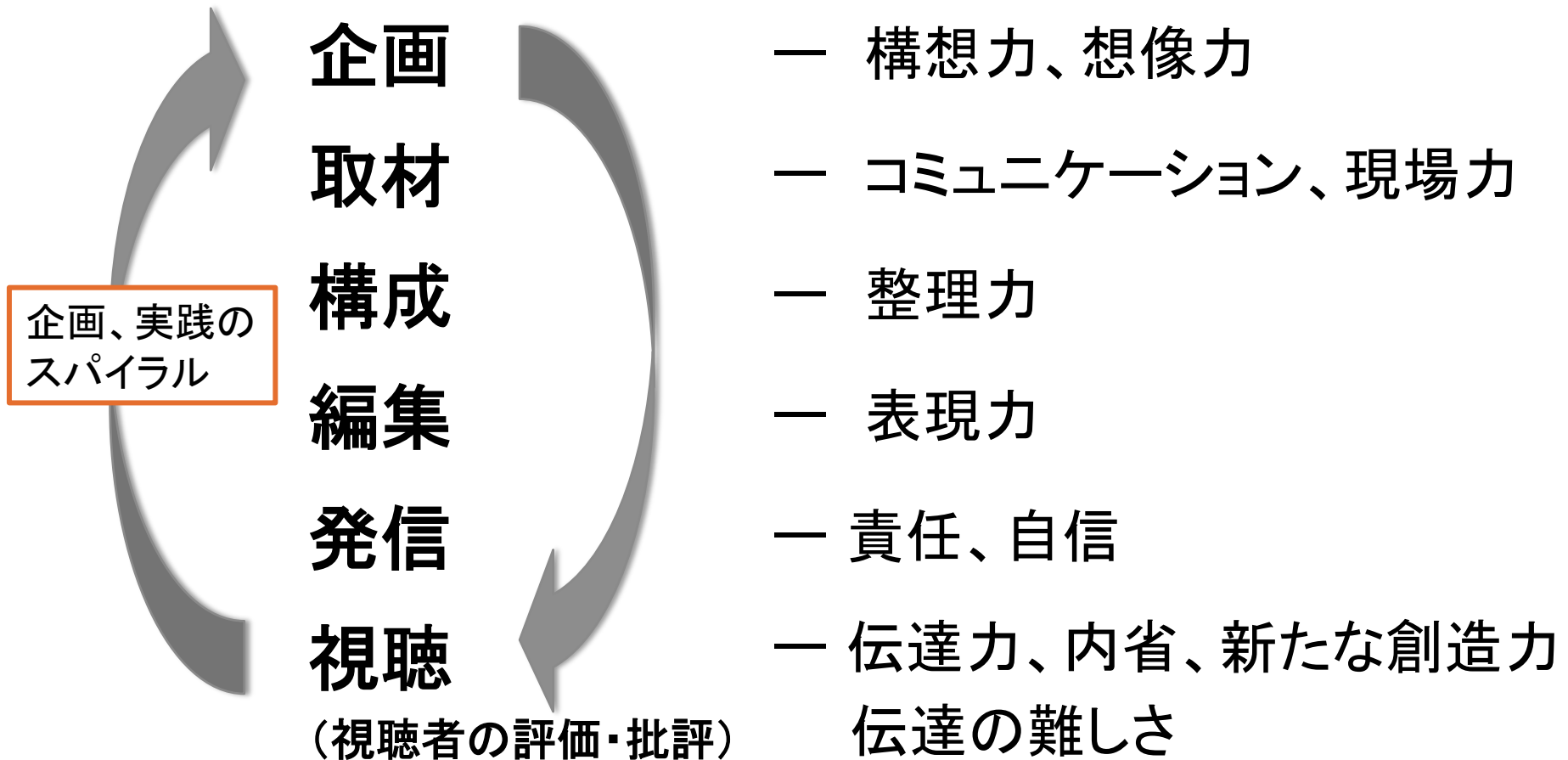
アイデンティティの回復、創造へ

解決策

自前の受発信力

企画力、発信力による総合的実践力のダイナミズム

住民ディレクター活動の内側は・・・



日常的に交流するネットワーク

SNSによるプラットフォーム

最新番組制作
News

住民ディレクター
養成講座

全国住民ディレクターNews

住民ディレクター
梶原 伯夫

情報交換
企画会議
情報発信

A

C

B

オールラウンドな情報発信に対応

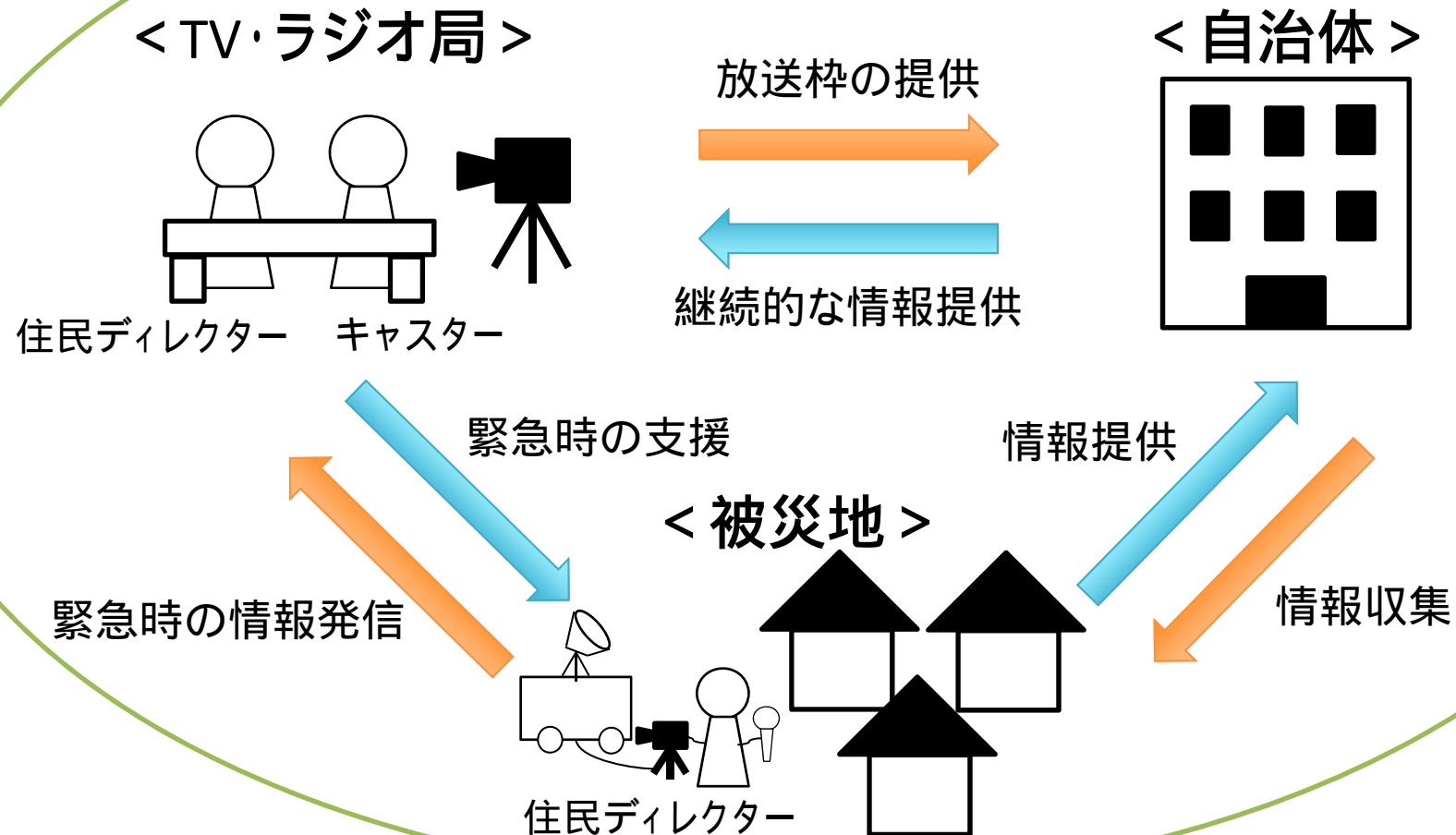
A 東日本被災地の発信

B 九州(平時)のコンテンツ

C 全国各地事例紹介

東日本で地上波との協働システム

協働制作態勢の確立



メディア・ツールの活用

番組化のノウハウ



メッセージ



スタジオ収録



中継



記録

オリジナルな組み合わせで
有効なメディア活用

地域に合った
クロスメディア態勢を！

Facebook

USTREAM

地域SNS

街頭TV

You Tube



復興構想会議提案企画について

- 情報発信プラットフォームへの参加者目標数は被災地を中心に250地域
- 東日本被災地(約80)と周辺約100市町村
- 住民ディレクターネットワーク約30(地域&団体)
- 全国各地の地域SNSなど約30(地域&団体)
- その他必要地域を推薦

プリズムの住民制作番組プロデューサー一覧表
(1996年～2011年)

住民制作番組数一覧(テレビ、ラジオ)

メディア	番組名	媒体	本	分	備考	ジャンル
地上波	国体情報局 ひと、光る。にゅーす 新発見伝くまもと	熊本朝日放送	128	2240	1999～2001年	応援番組、生活バラエティ
	よかこ発見ロマンの旅	熊本朝日放送	1	60	2000年、山江村ドラマ含めたドキュメンタリー	ドラマ、ドキュメンタリー
	山江村お正月特番	熊本放送	1	60	2006年1月4日放映	ふるさとバラエティ
	住民制作!ふるさとテレビ	富山チューリップテレビ	2	60	2006年	ふるさとバラエティ
ケーブルテレビ	使えるTV	熊本ケーブル	184	8760	1996年～	生活バラエティ
	佐用チャンネル	佐用町ケーブルテレビ	42	625	2008～2009年	ニュース、生活バラエティ
	とうほうTV	東峰村ケーブルテレビ	30	1860	2010年～	生活バラエティ
	杉並TV(教会通り物語)	J:COM東京	4	60	2010年	商店街情報
衛星放送	南の國から	スカパー!e2	87	1305	2003～2010年	全国生活バラエティ
インターネット	熊本発! だんだんなー山江村LIVE	Jstream	9	540	2004年	故郷バラエティLive
	CEATEC ユビキタス村	Jstream	56	3360	2004～2005年	IT情報Live
	第3回市民メディア交流集会中継	Jstream	2	240	2005年9月	住民メディアLive
	人吉 青井阿蘇神社1200年祭 5時間ネットライブ	インターネット	5	300	2006年9月9日	神社イベントLive
	杉並 教会通り商店街5時間ネットライブ	インターネット	5	300	2010年12月5日	商店街情報Live
	プリズムTV	インターネット	360	1800	2006～2008年	全国地域バラエティ
	但馬、海士、長野など約20地域	インターネット	200	1000	～2011年	生活バラエティ、教育番組
FM	くまもと未来国体ラジオ	コミュニティFM	84	5040	1999年	国体情報
	くまもと未来国体ラジオ	くまもとシティFM	15	225	1999年	ニュース、国体情報
	綾部等	各地FM	5	50	～2011年	ニュース、トピックス
合計			1220	27885		
5分番組換算			5577本			

住民制作番組数一覧(新聞)

新聞連載	火の国リポート	西日本新聞	96	—	2000～2001年、週1×2年間	地域住民情報
------	---------	-------	----	---	-------------------	--------

岸本 晃 番組制作プロフィール（代表作品）

- ◆ニュース 日本テレビ系列全国放送からローカル放送まで
ex.日本一づくり運動 出演：細川護熙（今日の出来事）
- ◆ドキュメンタリー
日本テレビドキュメントシリーズ
ex.「俺たちのいも」朝焼け農場の挑戦（ディレクター、撮影、編集）
西日本書紀（読売テレビ以西）
ex.バンカラ太平記 出演 森繁久彌、岩代浩一（プロデューサー、ディレクター、編集）
- ◆ドラマ
ex.平成元年のタイムスリップ（熊本オリジナル制作：日テレ系でも放送：監督）
ex.テレビドラマを作ろう！（熊本オリジナル制作：日テレ系一部放送：プロデューサー）
他 ドキュメンタリードラマ多数
- ◆福祉番組
24時間テレビ「愛は地球を救う」
ex.欽ちゃん熊本から 司会：萩本欽一（プロデューサー）
- ◆歌謡番組
歌のワイド90分：司会 徳光アナ（熊本中継ディレクター）
- ◆情報番組
ズームイン！！朝！ 司会：徳光→福留功男まで（プロデューサー、ディレクター）
- ◆バラエティ
11PM 「軽薄短小ぶっ飛ばせ！ワイルドに生きよう」司会：藤本義一（プロデューサー、ディレクター）
- ◆教育番組
家庭教師のトライ主催 討論番組（プロデューサー、ディレクター）
- ◆こども番組
なぜなぜ九州（ディレクター）
- ◆民謡番組
全国民謡選手権 司会：徳光アナ（熊本予選プロデューサー、ディレクター）
- ◆映画祭中継
熊本映画祭全国中継（11PMにて）司会：藤本義一 出演：真田広之、小林稔侍、穴戸錠、島田陽子（プロデューサー）
- ◆熊本映画祭ドキュメンタリー
出演；ビートたけし、吉永小百合、薬師丸ひろ子（プロデューサー、ディレクター）

民放テレビ局のプロフィール

- ◇日本テレビ（FBS福岡放送）系列熊本県民テレビに14年間勤務
- ◇14年間報道制作現場で下記の全てを経験
- ◇記者、カメラマン、編集、リポーター、デスク
- ◇プロデューサー、ディレクター、カメラマン、AD、FD、TK
- ◇イベントプロデューサー
- ◇広報、営業、経理（プロデューサー業の必然で）

ケーブルテレビプロフィール

- 熊本ケーブルテレビ
平成8年春より「使えるテレビ」プロデュース
当初は2時間番組の司会、プロデューサー、ディレクター、カメラマンの全てを担当。現在はNPOくまもと未来（理事長：岸本）の自主運営
- NHK衛星放送番組「ケーブルテレビは地域の応援歌」
制作アドバイスとコメンテーター
- 佐用チャンネル住民ディレクター番組総合プロデュース
兵庫県佐用町 @2010度から住民制作番組は住民の自主組織運営へ移行
- とーほーTV総合プロデュース（福岡県東峰村）
- その他全国各地多数のCATVへのアドバイザー、人材養成を行ってきた。

開局経験

熊本県民テレビ（報道制作現場として）

記者、ディレクターとして走り回っていた。日テレ系後半ランナーに近い局。開局早々ニュース記者やズームイン！！朝！ディレクター、24時間テレビプロデューサーをやらされ住民ディレクターの基礎を鍛えられた。

くまもと未来国体FMみらい（総合プロデューサー）

国体前年より県内98市町村に住民ディレクター養成、国体時は夏から秋にかけて1日13時間放送を全て住民ディレクターで運営した。イベントFM局だったがほぼ県内80%をカバー。

やまえ村民テレビ（総合プロデューサー）

日本で恐らく最も早い時期のインターネットTVの開局。村ごと、村民が伝えるモデルとなった。10年以上前に開局していた。継続中。

佐用チャンネル（住民ディレクター番組プロデューサーとして）

住民ディレクターを養成し、かなり濃い住民制作番組となったケーブルテレビ。これによって足腰を鍛えていたので2009年の水害時にも対応が可能だった。佐用から生まれた番組モデルは多数ある。

とーほーTV（総合プロデューサー）

福岡県で唯一のデジタルデバイド地域、4年ほど前までネットが繋がらなかった。3年半かけじっくりと住民ディレクターを養成、地域SNSで発信していたがこの秋にやっと光ケーブルテレビが開局に。